

第4回ウェルビーイング推進本部会議

1 日 時：令和7年1月6日（月）9時から10時

2 開催方法：ZOOMによる開催

3 内 容

（1）本部長あいさつ

本日の会議は、イネーブリングシティの形成に向けての理念や方針、具体的施策などを盛り込んだ「蒲郡市イネーブリングシティ基本計画」の素案が固まった。内容を説明し検討していただきたい。皆様からの忌憚のないご意見をよろしくお願ひします。

（2）議事

ア 蒲郡市イネーブリングシティ基本計画について

ウェルビーイング推進監から蒲郡市イネーブリングシティ基本計画（素案）の説明。

本計画書は、すべての人が幸福を実感しながら一人ひとりが自分らしく心も身体も健康な状態（ウェルビーイング）で暮らし続けることを目的に、幸福と健康の両方面から進める新しい都市像であるイネーブリングシティの実現に向けた新しいまちづくりのための基本計画として作成するもの。

第五次蒲郡市総合計画及び健康がまごおり21計画に基づき、関連計画と連携して策定するもの。取組の理念や方向性及び市民の幸福度を高め、健康を推進する具体的な施策を示している。

推進体制は、横浜市立大学との共同研究とイネーブリングシティ協会への事業委託及び市民・地域・団体・民間企業と協働で推進する。

現状（データと市民意識調査）の結果から課題分析をし、また本年度実施したイネーブリングシティウォークのデータから、蒲郡市の地域特性を把握した。

基本理念を「みんなでつくる ハッピー&ヘルシーなまち がまごおり」とし、基本方針1 幸福を感じる環境づくり、基本方針2 健康を支える社会の形成、基本方針3 地域協働で取り組むウェルビーイングの実現としている。

具体的推進施策は、Happy&Healthyの向上とUnhappy&Unhealthyの低減のための施策（ベンチ、アート、公共トイレ）を記載した。

末尾に資料編としてこれまでの会議やイネーブリングシティウォークの開催状況、各種データなどを掲載している。

<質問・意見交換>

・こども健康部長

P46 基本方針について 健康に関する部分は健康がまごおり 21 で進めるもので、イネーブリングについては幸福を軸として取組を進めるということではないか。イネーブリングシティ形成に関する方向性がわかりづらくなっている。P58 の下部の図のように、健康を軸とする部分は健康がまごおり 21 計画で取り組むイメージでとらえている。

・事務局

イネーブリングシティの形成についてはHappiness-drivenだけでなく、Health-driven も含めた2つの取組を充実させることを示すために基本方針を記載した。P58 の記載も合わせ記載の仕方を検討する。

・市民生活部長

全体的な話ではあるが、イネーブリングシティウォークによって抽出されたまちの景観に関する課題が前半部分で述べられている中で、最終的な施策がまちづくりの施策、ハードの施策になっているようにとらえた。ソフト面の事業も含めどのように全庁的な推進を図るのか。

・事務局

まちづくりの事業についてはソフト面の事業とも関わる P46 基本方針の“地域協働で取り組む”というところで示している。イネーブリングシティウォークからだけでなく、ジオデータ（地理情報分析データ）からも今後課題の抽出に取り組みたい。

・企画部長

P57 （2）データに基づく持続可能な都市計画のイについて、ここに持続可能な都市開発の方向性があるが、前後に少し書かれているだけであまり内容が推測できない文言になっている。

・事務局

記載方法を修正する。

・上下水道部長

P9 以外では市民との協働という言葉が出てくるが、この図は横浜市立大学や協会との関係性を示すものかもしれないが、市民が出てきていないので位置

づけも含め記載するほうがよいと思う。また、P18 では 他の図と異なり、男女の記載の色が異なっており、P19 では“男性”“女性”の記載が抜けている。他のグラフとの色の統一感があつたほうが良い。

・事務局

P7 に“一人ひとりと共に創りだしていくプロセス”と記載している通り、市民との協働を本計画では示しているので、P9 についても図にどのように市民を入れるかも含め検討し、第2章のグラフについても修正する。

・建設部長

説明の中で取組の理念や方向性、具体的な施策を示すもので、目標の数値は設定しないとあつたが、前半部分に多くのデータが示されていることも含め、具体的な目標数字を示したほうがまとまりが良いように感じる。現段階で目標数字を出しにくいこともわかるので、目標にする数値も今後変えていけばよい。また、計画の中に“宗教施設”とあるが“神社・仏閣等”にしたほうが良いと思う。

・事務局

目標数値については、基本的にはP4に示す方針で基本計画を作っていく方針で進めたい。また、『宗教施設』については『神社・仏閣等』の文言に修正する。

・副市長

主観的な評価を多く集め分析することによって、客観的データのようにとらえることができ、その内容をまちづくりの根拠とすることができるというのが西井先生の説明から読み取ることができた。

(しかしながら) P5 のイネーブリングシティの説明の中で“市民参加型の調査活動によって住民の声に基づいた施策が推進される”という部分があるが、この書きぶりだと、まちづくりの根拠についてイネーブリングシティウォークからの要素が大変大きくみえる。記載方法を検討すべきでは。

・事務局

蒲郡市イネーブリングシティ計画の説明についての記載方法については、武部先生や西井先生への確認をする。本計画の中でこのページの位置で、このように記載していると、本計画の目的とは異なるとらわれ方になるような書きぶりだと思われるので、文言の整理や掲載場所・方法を含め修正を検討する。

・総務部長

P17 の図のように一般的な市民が見ても言葉の意味がすぐに伝わりにくい

部分が出てくる。注釈などをつけてわかりやすくするとよい。誤字脱字の推敲も含めて実施の必要あり。

・事務局

修正・加筆する。

イ 庁舎内のイネーブリングシティウォークの結果報告

令和6年12月16日から12月20日の5日間、市役所本庁舎でイネーブリングシティウォークを実施した。今回、初めての屋内、立体的（1階から8階まで）空間で実施した。24人、86件の投稿があり Happy & Healthy が53件（65%）、Unhappy & Unhealthy が33件（35%）であった。

ウ 12月20日政策推進研修会報告

場所：北棟集会室

内容：・講話「イネーブリングシティ蒲郡 分析結果中間報告」

講師 横浜市立大学 西井正造氏

・施策検討会（ワークショップ）

参加者：44人

以上